



発行：釜石山田道路安全協議会
代表：西松建設株式会社
編集・監修：国土交通省 南三陸国道事務所
建設監督官(釜石山田道路担当)
発行日：平成25年 11月 1日

(仮称) 鶴住居第2トンネルの着工式が行われました



釜石市立第一幼稚園の園児によるげんきっこ虎舞

10月10日(木)、三陸沿岸道路・釜石山田道路において釜石市と大槌町を結ぶ(仮称)鶴住居第2トンネル(L=1,445m)の着工式が関係者約80名の出席のもと、同トンネル起点側坑口で行われました。

冒頭、工事の無事故・無災害を祈念し、釜石市立第一幼稚園の園児15名による「げんきっこ虎舞」が披露されました。施工者を代表し西松建設の鳴石亨東北支店長は「同トンネルは地域の賑わいを創出する役割を持つ重要な道路。会社の総力を結集し、三陸沿岸地域の早期復興に尽力したい」と決意を述べました。来賓の野田武則釜石市長は「大槌町と釜石市との距離が縮まるのは地域住民の悲願であり、無事故・無災害での早期完成を望む」と祝辞を述べました。碓川豊大槌町長は「三陸沿岸の産業、文化、心を未来へとつなぐ道路であり、一日も早い完成を期待している」と祝辞を述べました。

式典では、釜石市長、大槌町長、地元関係者、釜石市立第一幼稚園園児、発注者、施工者らが鍬入れを行い、工事の安全と一日も早い完成を祈りました。



来賓による鍬入れ



式典に参加頂いた皆さま



トンネル大型掘削機械を見学する園児

(仮称) 八雲第2トンネルの貫通式が行われました



貫通発破の点火

10月19日(土)、三陸沿岸道路・釜石山田道路の未開通部分に建設される10本のトンネルのうち、初貫通となる(仮称)八雲第2トンネル(L=839m)の貫通式が関係者約180名の出席のもと、同トンネル内で行われました。

冒頭、施工者を代表し熊谷組の樋口靖社長は「皆さまのおかげで順調に工事が進み貫通を迎えることができました。一日も早く安全に良いものを皆さまにお届けしたい」と決意を述べました。来賓の野田武則釜石市長は「工事が進められるのも地域の皆さんの理解や協力があってこそ。釜石の再生や地域振興に向けて道路の早期整備を願っている」と祝辞を述べました。

式典では、参列者の代表が貫通発破を点火し、トンネルを貫通させました。その後、釜石市長をはじめ、地元関係者、発注者、施工者らが貫通点で握手を交わした外、釜石中学校の3年生19名による釜中ソーラン、鏡開き、乾杯、万歳唱和など、参列者全員で釜石山田道路の順調な工事進捗を喜びました。



貫通点握手の儀



釜石中学校の生徒による釜中ソーラン



鏡開きの儀

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 建設監督官(釜石山田道路担当)

〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7 TEL:0193-29-1625

FAX:0193-29-1645

ホームページ URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisarikanu/index.html>

